# 転送電話サービスを利用する（秘書サービス） F70

V301Dの電源を切っているときや電波の届かない場所にいるときでも、かかってきた電話を指定した電話に転送できます。

●プッシュトーンを送れる一般電話や公衆電話から、転送先の登録や設定・解除、確認をすることもできます。

◆例：AさんがオフィスIの電話へ転送するよう登録し、BさんがAさんに電話をかけてきたとき（Aさんはお客様ご自身です）

## 転送電話サービスを設定すると

●以下の場合に転送されます。

・電源が入っていないとき

・電波の届かないところにいるとき

・電話がかかってきても応答せず、着信音が停止したとき（着信音が鳴っている間に電話を受ければそのまま通話できます）

●電話をかけてきた相手には、転送する旨のアナウンスが流れます。

●転送電話サービスを設定していても電話はかけられます。

●V301Dで通話中は、転送されません（ただし、割込通話サービスにお申し込みの場合は転送されます）。

●転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。

## 転送電話サービスの通話料金について

V301Dから行う転送先の登録（変更）、設定・解除、設定状況確認の操作 …………無料

一般電話や公衆電話から行う転送先の登録（変更）、設定・解除、設定状況確認の操作 ……………………………………………………………………………………………無料

相手からお客様のボーダフォン携帯電話までの通話料金 …電話をかけてきた相手の負担

お客様のボーダフォン携帯電話から転送先までの通話料金 ………………お客様の負担

●転送電話サービスと留守番電話サービスを合わせて「秘書サービス」と呼びます。
●以下の場合は、転送電話サービスは設定できません。それぞれの対処方法に従って操作するか、プッシュトーンを送れる一般電話や公衆電話から操作してください。

| 状　態 | 対　処 |
|---|---|
| 電波が届かない場所にいるとき | 電波の届く場所に移動してから操作してください。 |
| ご契約のボーダフォン株式会社以外のサービスエリアにいるとき | プッシュトーンを送れる一般電話や公衆電話から操作してください。 |

## 転送先の電話番号を登録（変更）する

V301Dにかかってきた電話を転送するには、転送先の電話番号を登録してから、転送するよう設定します。（☛P13-4）登録した転送先電話番号は変更するまで有効です。

●東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、転送先の電話番号を登録（変更）すると自動的に転送電話サービスが設定されます。
●地域によっては、Fメニューによる操作が一部ご利用になれない場合があります。その場合は、サービスコードでの操作または一般電話からの操作を行ってください。

**1** (F) 7 0 を押す

**2** で「1.Yes」を選び (選択)を押す

**3** で「1.着信転送」を選び (選択)を押す

**4** で「3.転送先設定」を選び (選択)を押す

13 オプションサービスがご利用いただけます

## 5 転送先の電話番号を入力し ◎（決定）を押す

転送先電話番号が設定され、「トウロク」と転送先の電話番号が表示されます。表示されないときは、操作1からやり直してください。

- 市内へ転送する場合でも、必ず市外局番から入力します。携帯電話、PHSに転送する場合は、「0」から始まる全桁の番号を入力します。
- 以下の電話番号は転送先に登録できません。
  - 「1」から始まる番号（110、118、119など）
  - 「0120」から始まる番号（フリーダイヤル）
  - 「0990」から始まる番号（ダイヤルQ2など）

**●待受画面に戻すには ◎（OK）を押します。**



# 転送電話サービスを設定する

V301Dにかかってきた電話を転送するように設定します。

●転送電話サービスを設定するには、あらかじめ転送先の電話番号を登録しておく必要があります。（☛P13-3）

## 1 転送電話サービスの設定画面を表示する

- 表示方法は「転送先の電話番号を登録（変更）する」の操作1〜3と同じです。（☛P13-3）

## 2 ◎で転送時に着信音を鳴らすかどうかを選び ◎（選択）を押す

転送電話サービスが設定され、「テンソウサービス ON」と表示されます。表示されないときは、操作1からやり直してください。

- 転送する際にV301Dの着信音を鳴らすときは◎で「1.呼出しあり」を選び◎（選択）を押します。転送する際にV301Dの着信音を鳴らさないときは◎で「2.呼出しなし」を選び◎（選択）を押します（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ利用できます）。
- 北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、現在、「呼出しなし」に設定することはできません。
- 転送先電話番号が登録されていないときは「ゴリヨウニナレマセン」または「転送先を設定してください」と表示されます。転送先の電話番号を登録してください。（☛P13-3）

**●待受画面に戻すには ◎（OK）を押します。**

- 簡易留守録、自動着信と転送電話サービスが同時に設定されている場合は呼出時間の短い機能が優先されます。
- 呼出時間を簡易留守録や自動着信と同じ秒数に設定したときは、電波状況などにより、実行される機能が変わります。

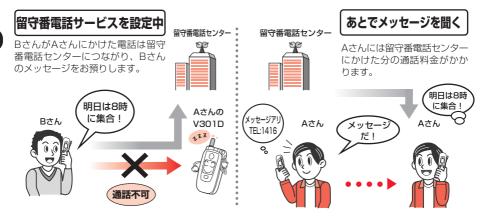
- 「呼出しあり」に設定にしていても、電波の届かない場所にいるときは、着信音は鳴らずに転送されます。
- 着信音が鳴っている間に電話を受ければ、そのまま通話できます。
- 呼出時間を5～30秒（5秒単位）の間で変更できます（関東・甲信／東海／関西／北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合のみ利用できます）。（☛P13-12）
- 転送電話サービスを解除するには（☛P13-13）

# 留守番電話サービスを利用する（秘書サービス） F70

別途お申し込みが必要です

V301Dの電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときなどに、留守番電話センターでメッセージをお預かりします。

●プッシュトーンを送れる一般電話や公衆電話から、サービスの設定・解除、確認などをすることもできます。
●メッセージを聞く場合、通話料金がかかります。
●相手の用件をV301Dに録音する簡易留守録とは異なります。

◆例：留守番電話サービスを設定中、BさんがAさんに電話をかけてきたとき（Aさんはお客様ご自身です）

## 留守番電話サービスを設定すると

●以下の場合に留守番電話サービスが行われます。
- 電源が入っていないとき
- 電波の届かないところにいるとき
- 電話がかかってきても応答せず、着信音が停止したとき（着信音が鳴っている間に電話を受ければそのまま通話できます）

●V301Dで通話中は、留守番電話サービスは行われません（ただし、割込通話サービスにお申し込みの場合は、留守番電話センターに転送されます）。
●留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。

●留守番電話サービスと転送電話サービスを合わせて「秘書サービス」と呼びます。
●以下の場合は、留守番電話サービスの設定やメッセージの再生はできません。それぞれの対処方法に従って操作するか、プッシュトーンを送れる一般電話や公衆電話から操作してください。

| 状　態 | 対　処 |
| --- | --- |
| 電波が届かない場所にいるとき | 電波の届く場所に移動してから操作してください。 |
| ご契約のボーダフォン株式会社以外のサービスエリアにいるとき | プッシュトーンを送れる一般電話や公衆電話から操作してください。 |

## 留守番電話サービスを設定する

V301Dにかかってきた電話を留守番電話センターに転送するように設定します。
●地域によっては、Fメニューによる操作が一部ご利用になれない場合があります。その場合は、サービスコードでの操作または一般電話からの操作を行ってください。

**1** (F) 7 0 を押す

**2** で「1.Yes」を選び (選択)を押す

**3** で「2.留守番電話」を選び (選択)を押す

13 オプションサービスがご利用いただけます

## 4 ◎で転送時に着信音を鳴らすかどうかを選び◉（選択）を押す

留守番電話サービスが設定され、「ルスバンサービス ON」と表示されます。表示されないときは、操作**1**からやり直してください。

- 転送する際にV301Dの着信音を鳴らすときは◎で「1.呼出しあり」を選び◉（選択）を押します。転送する際にV301Dの着信音を鳴らさないときは◎で「2.呼出しなし」を選び◉（選択）を押します（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ利用できます）。
- 北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、現在、「呼出しなし」に設定することはできません。

**●待受画面に戻すには◉（OK）を押します。**

### かかってきた電話を留守番電話センターに転送するには

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に利用できます。

**① 着信音が鳴っている間に（機能）を押す**

ポップアップメニューが表示されます。

**② ◎で「留守電転送」を選び◉（選択）を押す**

留守番電話センターに転送されます。

- 電波状況などにより留守番電話センターに接続できないときは、「ご利用になれません」と表示されます。

注意

- 簡易留守録、自動着信と留守番電話サービスが同時に設定されている場合は、呼出時間の短い機能が優先されます。
- 呼出時間を簡易留守録や自動着信と同じ秒数に設定したときは、電波状況などにより、実行される機能が変わります。

補足

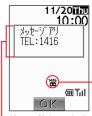
- 「呼出しあり」に設定していても、電波の届かない場所にいるときは、着信音は鳴らずに転送されます。
- 着信音が鳴っている間に電話を受ければ、そのまま通話できます。
- 呼出時間を5～30秒（5秒単位）の間で変更できます（関東・甲信／東海／関西／北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合のみ利用できます）。（☛P13-12）
- 留守番電話サービスを解除するには（☛P13-13）

# メッセージを聞く

留守番電話センターでお預かりしたメッセージは、V301Dおよびプッシュトーンを送れる一般電話や公衆電話から聞くことができます。

## メッセージをお預かりしているときの表示

●メッセージをお預かりすると、次の操作をしたときに右の画面が表示されます。
- 電源を入れたとき
- 通話を終了したとき
- 一定距離を移動したとき（一定距離とは、市街地の場合は数km～数十km、郊外では数十kmが目安です）

●V301Dからメッセージを聞くと、1416 は消えます（一般電話や公衆電話からメッセージを聞いたときは消えません）。
●電波の届かない場所にいるときは右の画面は表示されません。
●メッセージは1件につき最大3分、20件までお預かりできます。保存期間は、すべてのメッセージについて、「最後にメッセージを録音されたとき」または「最後にメッセージを再生したとき」から48時間です。

約15秒たつと自動的に消えます。
メッセージを聞くまで表示されます。

## メッセージを再生する

**1** **留守番電話サービスの設定画面を表示する**

● 表示方法は「留守番電話サービスを設定する」の操作**1**～**3**と同じです。（☛P13-7）

**2** **で「3.再生（センター）」を選び（選択）を押す**

留守番電話センターに電話がかかります。以降は、アナウンスに従って操作してください。

# 留守番電話センター番号を変更する

お買い上げ時は「1416」に設定されています。

●ご契約のボーダフォン株式会社から番号変更のお知らせがない限り、変更しないでください。変更すると、Fメニューからの操作でメッセージを聞くことができなくなります。

**1** **留守番電話サービスの設定画面を表示する**

● 表示方法は「留守番電話サービスを設定する」の操作**1**～**3**と同じです。（☛P13-7）

**2** **で「4.センター番号変更」を選び (選択)を押す**

留守番ｾﾝﾀｰ番号
1416
決定 戻る

**3** **センター番号を変更する**

① **Clear を1秒以上押す**
表示されているセンター番号が消去されます。

②**新しいセンター番号を入力し (決定)を押す**
留守番電話センター番号が設定されます。

●**待受画面に戻すには (戻る)を1秒以上押します。**

# 留守番電話サービスの各種機能を設定する

## 関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

応答メッセージについて、以下の設定ができます。

●応答メッセージの選択：システムの応答メッセージか、お客様の声で録音した応答メッセージかを選択します。

●不在案内：お客様のメッセージを相手に伝えますが、相手のメッセージは録音されません。不在案内メッセージはお客様の声で録音します。

●自分の名前の録音：録音しておくと、遠隔操作のときなどに、自分の留守番電話であることを確認できます。

**1** **1 4 1 6 と押す**

留守番電話センターに電話がかかります。お預かりしているメッセージ件数についてのアナウンスが流れたあと、留守番電話サービスのメインメニューになります。

**2** **4 3 と押す**

応答メッセージの設定のメニューになります。

**3** **ダイヤルボタンで機能を選ぶ**

以降は、アナウンスに従って操作してください。

## 北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合

留守番電話サービスについて、以下の設定ができます（パーソナルオプション）。

●交換機用暗証番号入力の条件設定：留守番電話サービスご利用時に交換機用暗証番号の入力が必要かどうかを選択します。

●応答メッセージの録音：応答メッセージをお客様の声で録音します。録音がない場合には当社の通常アナウンスが流れます。

●不在応答：お客様のメッセージを相手に伝えますが、相手のメッセージは録音されません。

- 不在応答メッセージはお客様の声で録音します。
- 不在応答メッセージを録音すると自動的に不在応答に設定されます。また、不在応答メッセージを消去すると不在応答が解除されます。

**1** 1 4 1 6 と押す

留守番電話センターに電話がかかります。お預かりしているメッセージ件数についてのアナウンスが流れたあと、留守番電話サービスのメインメニューになります。

**2** 2 を押す

パーソナルオプションメニューになります。

**3** ダイヤルボタンで機能を選ぶ

選んだ機能のメニューになります。以降は、アナウンスに従って操作してください。

## 東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合

電話をかけてきた相手への不在案内メッセージをお客様の声で録音できます。録音時間は最大3分間です。不在案内メッセージが録音されていない場合には当社の通常のアナウンスが流れます。

**1** 1 4 1 8 と押す

**2** アナウンスに従って、不在案内メッセージを録音する

● 発信音のあとに不在案内メッセージを録音してください。録音しない場合には、不在案内メッセージが無音になってしまうことがありますのでご注意ください。

**3** を押す

●不在案内メッセージを録音しても、留守番電話サービスは設定されません。
留守番電話サービスを設定するには（☛P13-7）

●留守番電話サービスを解除しても、録音した不在案内メッセージは消去されません。